

施策番号 4-2-1	施策名 地域文化の振興	基本目標	個性的で心豊かな人と文化を育むまちづくり			
		政策名	交流を通じた魅力ある地域文化の形成			
	主管課	社会教育課	課長名	日下勝祐	内線	517
	施策関係課					

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果
地域における文化活動への参加を促進するとともに、文化財などの活用をすすめます。		町民	<ul style="list-style-type: none"> 文化活動に参加してもらおう 文化活動が盛んになる 				心が豊かになる
成果指標	説明	単位	23年度(策定時)	28年度	29年度	30年度	
① 地域文化活動への参加者数	社会教育課調べ	人	727	599	558	900	
② 参加できる文化活動の数	社会教育課調べ	回	16	21	16	16	
③ 文化活動がしやすいと感じる町民の割合	住民意識調査	%	37.7	40.1	42.2	40.0	
成果指標設定の考え方	①町民文化展への出展者数、メモオロ太鼓保存会会員数、文化協会加盟人数について段階的に増加を目指す。 ②文化協会加盟団体主催の発表会、公民館を会場とする展示会の回数を計画策定時の水準を維持する。 ③文化活動がしやすいと感じる町民の割合を平成25年度の実績に基づき40パーセント台を維持する。						

2. 施策の事業費

	28年度決算	29年度決算
施策事業費(千円)	21,947	24,709
人工数(業務量)	0.7759	0.7116

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①平成29年度の成果評価(前年度比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	成果指標①②は前年度より低下 →文化協会会員数の減少 成果指標③は前年度を上回る
②平成30年度の目標値達成見込み	<input type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標は達成できる <input type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	<ul style="list-style-type: none"> 地域文化活動への参加者数は文化協会加盟人数を指標の一部としているが、加盟団体の減少及会員数減少しているため、目標値のクリアは厳しい現状。 →財政的支援などを含めた文化協会の在り方を検討していくことで会員数の増加となるよう努める。 公民館講座受講生や個人活動のサークル化を進めるとともに多様化するニーズへの対応が求められる。
(2) 施策の成果評価に対する平成29年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	町民文化展開催事業 文化団体活動支援事業 芸術鑑賞会等開催事業 芸術・文化振興事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	<ul style="list-style-type: none"> 町民との連携による文化芸術活動の充実 →芸術鑑賞会等開催事業は、町民を含めた文化芸術鑑賞会内容検討会議を立ち上げ、鑑賞内容の選定など運営に携わっていただき、鑑賞した参加者からの好評を得ることができ、施策目標の達成に寄与した。 児童生徒の文化芸術振興 →全国全道大会出場支援や芸術鑑賞支援は、文化活動がしやすいと感じる町民の割合への貢献度が高い。 文化活動への多様化するニーズに対応と、団体会員の減少、指導者、後継者の確保が大きな課題となっている。 		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない
- E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	《施策を取り巻く環境》 ・芸術鑑賞会の開催は、今後も町民検討会議の意向を踏まえた事業展開。 ・文化協会会員の高齢化や加盟団体数や会員数が減少傾向にあり、個々の文化に対するニーズが多様化し、個々の活動が町外に広がる可能性があり、広域的な情報交換や連携が必要。 《今後の予測》 ・団体活動の指導者、後継者不足が顕著であり、対応策が急務である。
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	・文化団体が公共施設を利用する際の使用料の無料化についての意見がある。 ・公民館で使用できるカラオケ機器の導入要望がある。

5. 施策の課題認識(現状の課題、新たにに取り組むべき課題)

課題① 文化芸術の振興充実の必要 ・団体活動の指導者、後継者不足に対する対応策の検討。 ・町民による文化芸術鑑賞会内容検討会議の意向を踏まえた予算を含めた事業展開。 ・文化協会の支援とともに、社会教育施設の使用料の在り方検討。 ・指定管理者と連携した公民館事業の充実。
課題② 文化施設の施設設備備品の充実 ・中央公民館及びふるさと歴史館の長寿命化計画と施設修繕や備品等の計画的な整備。

6. 総合計画推進委員会(庁内評価)

評価	児童生徒の文化芸術振興への支援や、町民参加型の事業展開など、計画策定時と比較して前進していると言える。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	スポーツ・文化共に指導者の確保が大きな課題となる。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	数値には表れていないが、各種サークル活動など、芽室町は住民活動が盛んと感じる。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	●社会教育課で把握している数値を成果指標とすると、実際よりも文化活動が盛んではない印象を受ける。 ●町民活動支援センターの把握している数値を成果指標としても良いのではないかと。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した					